

★表紙関連

チームで楽しむニュースポーツ

スポーツフェスタ「カローリング大会」



▲狙いを定めて投球

7月5日、総合スポーツセンターで同大会が開催され、友だちや家族、職場・地域の仲間などで組まれた62チーム、計330人が出場しました。

屋内で車輪付きの円盤（ジェットローラー）を滑らせ、得点ゾーンの中心にどれだけ近付けられるかを競うもの。会場では、ジェットローラーの行方に一喜一憂する姿や、作戦を話し合う様子が見られ、幅広い世代での交流が育まれました。

訓練で培った消防技術を披露

第28回筑紫地区消防操法大会



▲火点に向け力強くホースを構える団員

7月4日、筑紫野市総合保健福祉センター「カミリーヤ」で同大会が開催されました。

春日市消防団の代表として、小型ポンプの部に本部分団が出場。日頃の訓練の成果を存分に発揮しました。

優勝は逃したものの、出場した団員は「この経験を今後の消防団活動に生かし、地域の安全・安心のため尽力していきたい」と話しました。

第72回全日本中学校通信陸上競技大会

全国4位(県1位)の入賞を報告



▲左から山崎教育長、中島さん、高田副市長

7月24日、中島ももさん(春日野中学校2年)が市役所を訪れ、同大会の女子2年100mの種目で入賞したことを報告しました。

中島さんは「小さい頃は体操と水泳をやっていたが、中学に入り陸上を始めた。陸上は自分と向き合う競技。楽しくてやめようと思ったことはない。8月と10月に開催される全国大会も頑張りたい」と今後の抱負を語りました。

安全安心なまちにするために

第76回「社会を明るくする運動」推進大会



▲大会宣言で決意を表明する保護司

7月11日、ふれあい文化センターで、筑紫保護区保護司会春日支部主催の同大会が開催され、自治会や学校関係者など約150人が参加しました。

春日高等学校放送部の生徒による司会進行の下、犯罪や非行防止および安全安心のまちづくりをテーマとして、警察官の講演や小学生4人の作文発表などが行われ、更生保護などについて考える大会となりました。